

6 社会的責任・市の施策との整合

6-1 環境保全

(一般園地)

- 市民団体などのボランティア活動や中学生の職場体験学習により花壇管理や清掃活動を協業。パークセンター職員の指導により、侵略的外来種の駆除や花殻の剪定、花壇管理の知識を深めてもらう機会としても活用。
- 園地維持管理で発生した落ち葉の一部を一般来園者進入禁止エリアとして設定している山のエリアの一部や、土がむき出しになっている雑草地等に将来的な腐葉土として散布することにより廃棄物としての排出量を削減。R6 年度にはバイオネストを市民と作成するなど、サステナブルな維持管理の普及啓発も実施。
- 体験学習施設などで養蜂を行い、公園の循環を促すとともに、養蜂事業を通じて市民も環境学習ができる採蜜体験事を実施。子ども向けだけでなく、大人を対象としたプログラムを用意するなど、多様な展開を行った。
- 鶴見緑地乗馬苑と連携し、馬糞の堆肥化を実施。園内各所の土壌改良剤として活用。
- 風車の丘大花壇のコスモスやチューリップの抜き取りイベントを実施。植栽管理に伴うごみの減量
- 駅前の使用されなくなった水系施設を、壁面緑化と植栽帯に再整備。猛暑対策と同時に利用者の憩いの空間を創出。
- なにわECOスクエアと連携した生物多様性に係るイベントを実施。
- イベントの付帯として招致するキッチンカーについては、イベントの特性や参加人数に応じて販売物の種類や数量を調整。(フードロスゼロへの取り組み) イベント主催者の協力を得て、ごみステーションの設置及びごみの分別回収の徹底。
- 大学等の研究機関などとも連携・協力し、研究・学習のためのフィールド提供や、講演会への講師派遣協力の実施。

(咲くやこの花館)

- ごみの減量化(複数枚コピーの両面印刷・ゴミの分別収集・入館者のゴミの持ち帰りを依頼、チラシ等の印刷枚数の適正化、再生紙、森林認証紙の購入)
- 展示棟、事務所などの照明のLED化
- 本館(全トイレ)および事務所(1階)の手洗い自動水栓化による節水(新型コロナ感染防止策も含む)
- 館オリジナルの持ち帰り用袋はバイオマス30%以上のものを使用
- プラスチックバックの有料化(ミュージアムショップ)
- ごみの分別の徹底(事務所、レストラン、売店、カフェ)
- 植物多様性保全拠点園事業への参加
- ペーパーレス化(会議時の資料を、PC端末共有画面に変更)
- SDGs【13. 気候変動に具体的な対策を、15. 陸の豊かさを守ろう】に関連する取り組みとして以下の事業を行った

【事業内容】

- ① 生物多様性保全に関するネットワークに参画
 - ② 大阪生物多様性保全ネットワーク、大阪生物多様性施設連絡会に参加
 - ③ 野外で自然と触れ合える機会を増やす取り組み…屋外庭園の「役立つ植物広場」を用いた農業体験や収穫体験、ワークショップの実施
 - ④ 身近なところで生き物・植物を見つけるイベント…昆虫と植物の関係を知る教室の実施や、食虫植物観察教室を開催。
 - ⑤ 国内外の希少な 動植物の生息域外保全を推進…環境省等から「生息域外保全情報」や、「保有植物のデータ」など関連する調査依頼等があれば協力する。
 - ⑥ 外来生物の侵入・拡散防止に取り組み…在来種を保全する上で懸念される外来生物の侵入・拡散を防止するため、新しい植物を導入する際は情報収集を欠かさず行う。
 - ⑦ ボルネオ（マレーシア）の熱帯雨林や動物の保護活動・・・ボルネオ保全トラスト・ジャパンの協力のもと、イベントを通じて、子どもたちに植物や自然環境に対する知識や関心を深めてもらい、熱帯雨林の保全の大切さを伝える。
 - ⑧ ハワイの植物の紹介…当館が保有する希少なハワイ固有種から外来種まで、多数のハワイの植物を展示し、自然の大切さを啓蒙します。
 - ⑨ マダガスカル植物紹介…フニーバオバブの開花に合わせ、サガリバナやオオオニバスといった夜咲きの花など、夜の植物園をめぐるナイトツアーを開催し、バオバブの故郷であるマダガスカルを取り巻く環境問題を含めた解説を行い普及啓発（R2 年度はコロナ感染防止の為、オンラインで開催）
- 球状太陽光発電によりテントによるイベント、出店社→イベント出店者の電力に利用
 - フラワーロスへの協力事業 日本花き振興協議会による花の装飾展示を館の外（前池）にて開催し花卉活用場を提供
 - 秋のばら祭で使用した切り花を当館関係先「プリザーブドフラワー協会」「押し花学院」に提供し、加工を依頼し、その加工されたバラを二次利用として、当館子供向けWSを次年度以降開催予定
 - SDGs の観点から天王寺動物園と協力し、サバンナ堆肥を用いた土づくりを行い、また、堆肥のプレゼントを行った
 - バナナの廃材となる葉や茎を利用して織り込んだ「バナナクロス」のティッシュケースを提供してもらい、フラワーツアーで紹介し、参加者へのノベルティとして配布した。
 - 洗剤や食品の袋を使って ミニバッグやアートフレームをつくろうという SDGs 工作イベントを実施した。
 - 大阪市の脱炭素に資する実証実験（太陽光パネル利用の冷蔵ショーケース）に協力した。
 - 経済産業省との「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約）」に基づいて任意放棄され、取得した植物寄託された植物の保護育成
 - ワシントン条約に該当する疑いのある植物の同定などの協力から、税関業績者表彰を受賞した
 - 植物多様性保全拠点園事業
 - プチイングリッシュガーデンに、枯葉、花殻などを堆肥化する SDGs Box を設置
 - 古着からリサイクルされたサステナブル用土資材の活用に向けた試作栽培（ラン、食虫植物）

- 大阪市環境局との連携 展示&デモンストレーション 8/12（土）開催【燃料電池自動車 MIRAI がやってくる！】で脱炭素啓発
- なにわ ECO スクエア事業への協力 エコボラ研修「咲くやこの花館で植物の知恵や不思議を知ろう！」 VR（拡張現実）体験 AR（仮想現実）タブレット体験、講演協力 館内ツアー 意見交換会を実施
- 大阪市環境局主催事業への協力 おおさか市民環境大学「気候変動の現状とわたしにできること」多様な植物のおはなし講座と館内ツアー、講演協力 AR（仮想現実）タブレット体験 を実施
- 果樹栽培温室に害虫忌避照明導入（減農薬環境配慮）
- ホテイアオイ外来種問題啓発ミニ展示
- 大阪ユニセフ協会と連携し、環境問題の写真展を実施
- サボテン多肉植物展にてワシントン条約を啓発する植物とパネル展を実施
- 生物多様性の保全の取り組みとして、近畿各地をはじめ全国の植物園・大学・企業・自然保護団体等の多数の関係先より、絶滅が危惧される希少植物の生息域外保全（自生地ではない場所で栽培保全すること）に取り組んでいる
 - ① 沖縄ちゅら島財団から国内では奄美大島のみに産するサガリラン
 - ② 手柄山植物園から兵庫県姫路市産の野生サギソウ
 - ③ 京都府の保護団体や個人から京都府京都市産の野生フジバカマほか 13 種
- 植物管理に係る技術的な取り組みとして栽培棟（バックヤード）での植物の栽培条件の改善を図るため、植物育成用 LED 照明の使用や環境にやさしい次世代の栽培用土（かるつちくん、DW ファイバー）などの新規導入を行い、特定の植物種の生育改善など一定の成果をあげた。

6-2 就職困難者雇用

- ・ 障害者雇用率は各社法定雇用率を遵守するよう努めたが、R4 年度のみ一時未達成の期間があった。
- ・ その他高齢者の活躍の場として、園内清掃業務にシルバー人材センターを活用している。

法定雇用率	2.20%	2.30%	2.30%	2.30%
	R2	R3	R4	R5
大和リース	2.34%	2.32%	2.39%	2.39%
大阪スポーツみどり財団	4.21%	3.64%	3.64%	2.63%
ミズノ	2.47%	2.30%	2.24%	2.38%
ウエルネスサプライ	2.31%	2.84%	3.13%	2.44%
エルミオーレ	法定対象外			
三菱電機ビルソリューションズ	2.34%	2.47%	2.47%	2.34%
大和ライフネクスト	2.22%	2.33%	2.33%	2.79%

6-3 個人情報保護等の取り組み

○一般園地

- ・出来る限り個人情報に該当する情報は取り扱わない。
- ・その他業務上必要な情報については、個人情報保護規定（USB などは持ち出さない、データ管理の際はパスワードを設定。紙媒体は鍵付きロッカーで管理など）に基づき取り扱っている。
- ・貸出時など利用者からの個人情報取得に際しては、簿冊ではなく、単票とし不要となった時点で速やかに処分。
- ・万が一に備え、保険を付保。
- ・個人情報保護研修を実施し、職員の意識向上に努めた。

※各年度の取り組み状況は別紙「個人情報保護の取組み」を参照

6-4 職員研修等

【代表企業】大和リース株式会社 大阪本店

研修名		開催時期			
		R2	R3	R4	R5
基礎研修	接遇研修（ユニバーサルマナー研修）	2月	2月	2月	
	個人情報保護研修	1月	3月	1月	6月・2月
	人権研修	2月	9月	9月	10月
	コンプライアンス研修	10月	10月	4月	2月
	安全衛生研修	11月	11月	8月	10月
	防災訓練／応急手当訓練	12月	12月	3月	9月・3月
	安全運転講習会	10月	6月	5月・12月	5月・12月
	OJTエルダー研修			10月	
専門研修	環境学習会	3月	12月・3月		12月
	経理研修（インボイス制度）			10月	
	総務部セキュリティ小テスト				5月

【構成員】一般財団法人大阪スポーツみどり財団

研修名		開催時期			
		R2	R3	R4	R5
基礎研修	人事評価者研修	10月	10月		
	人事評価者説明	11月	11月		
	SDGs研修	10月	3月	12月	
	個人情報保護研修（事例で学ぶ情報セキュリティの対策の必要性）	2月	2月	1月・2月	1月・2月
	人権研修（障がい者研修）	2月	11月・12月	12月	12月
	安全衛生研修（メンタルヘルス）	11月	10月	9月・10月	10月

	防災訓練	11月・1月	11月・1月		1月・3月
	安全運転講習会	10月	11月	11月	
	A T 研修（接客＆マナー）	2月/3月	3月	3月	5月・3月
	廃棄物管理責任者講習	1月			
	アテンダント研修（側物）		6月・12月	6月・12月	4月・7月
	みどり技術研修会（初級研修）		7月		
	甲種防火管理者（再講習）		10月		
	食品衛生責任者研修		11月		
	経理研修				8月・3月
研修名		開催時期			
		R2	R3	R4	R5
専門研修	巡回点検業務研修	3月	8月	8月	
	人材育成研修（Biz CAMPUS（定額制公開型研修））	4月～3月	4月～3月	4月～3月	4月～3月
	文化庁ミュージアムエデュケーション研修	10月/2月	1月		
	第61回日本動物園水族館教育研究会 WEB 大会	2月			
	全日本博物館学校 第46回研究大会（オンデマンド開催）	2月			
	日本植物園協会 大会			5月	5月
	おおさか生物多様性施設連絡会			8月	5月
	日植協 夏休みオンラインシンポジウム参加			8月	
	日本植物園協会 技術者研修			10月	1月
	日植協第2分野運営会議「各植物園のSDGsの取組」への参加			11月	
	日本展示学会 in 東京国立博物館への参加			12月	
	経理研修（インボイス制度）			1月	
	博物館法の改正に伴う新登録制度に係る説明会			2月	
	日本植物園協会絶滅危惧種データベース研修			2月	
	日本植物園協会第6回教育普及研修			2月	
	日本植物園協会 自然と人間との共生フォーラム			2月	
	日本植物園協会 ナショナルコレクション研修			3月	
	救命救急講習			3月	
	技術職員育成研修 「カカオ、コーヒー専門講座」			3月	
	園芸大学				5月
	環境省と日本植物園協会主催種子・孢子・組織培養保全フォーラム				12月
	尾陰先生除草ビクスレクチャー				12月
	植物園協会 第7回教育普及ワークショップ				2月
	日本博物館協会主催 第1回研究協議会				2月

【構成員】 美津濃

研修名		開催時期			
		R2	R3	R4	R5
基礎研修	接遇研修（ユニバーサルマナー研修）	6月・3月	11月・12月	12月・3月	5月・9月
	個人情報保護研修	10・11・3月	3月	5月・10月	5月・9月
	人権研修（障がい者研修）	10月・3月	11月・12月	5月・10月	5・7・9月
	コンプライアンス研修	5月・3月	10月	11月・3月	5月・9月
	安全衛生研修	5月・3月	6・10・11・12・3月	5・10・3月	5・7・9月
	消防訓練・防災訓練	5月・2月	6月・12月	7・9・10・3月	5・7・9月
	応急手当訓練	5・11・3月	6月・11月	5・11・3月	5月・9月
	安全運転講習会	12月	12月	12月	6月
専門研修	物品販売対応研修	6月・3月	6月・3月	3月	
	顧客満足向上プロジェクト			3月	
	熱中症対策研修	5月	5月	7月	
	プール監視員・受付研修				7月
	維持管理研修				3月

【構成員】 株式会社ウエルネスサプライ

研修名		開催時期			
		R2	R3	R4	R5
基礎研修	接遇研修（ユニバーサルマナー研修）	5月、3月	11月12月	3月	3月
	個人情報保護研修	5月、3月	1月3月	3月	3月
	人権研修（障がい者研修）	5月、3月	11月12月	3月	3月
	コンプライアンス研修	3月	10月2月	3月	3月
	安全衛生研修	11月	6月3月	5月	5月
	防災訓練	5月 2月	6月1月	8月	9月
	応急手当訓練	11月	6月11月	3月	3月
	リーダー研修	施設車両無		6月	6月
	防災管理者講習			8月	
	CPR研修			9月	9月

【構成員】 有限会社エルミオーレ

研修名		開催時期			
		R2	R3	R4	R5
基礎研修	アプリケーションシステム講習会	5 月			
	個人情報保護研修	6 月	2 月	4 月	4 月
	人権研修	10 月	12 月	12 月	12 月
	接遇研修	12 月			
	コンプライアンス研修		1 月	10 月	10 月
	救急救命研修		1 月	8 月	
	人材育成研修				3 月
専門研修	馬行動学講習会	11 月	7 月, 3 月	3 月	6 月
	動物取扱責任者講習会	11 月	6 月	11 月	11 月
	乗馬指導者講習会	2 月	11 月	7 月	7 月
	馬飼養衛生管理地方講習会			10 月	11 月

【構成員】 三菱電機ビルソリューションズ（三菱電機ビルテクノサービス）株式会社 関西支社

研修名		開催時期			
		R2	R3	R4	R5
基礎研修	個人情報保護研修	9 月	1 月	12 月	12 月
	人権研修（障がい者研修）	3 月	3 月	2 月	2 月
	コンプライアンス研修	9 月	2 月	9 月	9 月
	安全衛生研修	3 月	3 月	3 月	3 月
	安全運転講習会	10 月			
専門研修	巡回点検業務研修	6 月・10 月	8 月・2 月	8 月・2 月	8 月・2 月

【構成員】大和ライフネクスト株式会社

研修名		開催時期			
		R2	R3	R4	R5
基礎研 修	接遇研修（ユニバーサルマナー研修）	4 月	4 月	2 月	2 月
	個人情報保護研修	4 月	4 月	8 月	8 月
	人権研修（障がい者研修）	4 月	4 月		
	コンプライアンス研修	4 月	4 月	4 月	4 月
	安全衛生研修	4 月	4 月		
	防災訓練	11 月	11 月		
	応急手当訓練	12 月	12 月		
	安全運転講習会	1 月	1 月	5 月	5 月
専門研 修	保安教育研修	9 月	9 月		
	機器操作教育	11 月	11 月		

7 第1期の総括及び自己評価

2019年に提案していた内容に対して、2020年から始まった新型コロナウイルスによる緊急事態宣言などにより事業進捗に大きな影響を受けた。世界的なパンデミックであったため生活様式にも大きな変化があり、車での移動が増える、密をさけて屋外で余暇を楽しむなど、多くは悪化方向への影響であったが、施設用途によっては良い方向への影響も見られた。事業計画に遅延は生じたものの、提案していた内容の大半を実施することができ、第1期の事業収支は芳しくなかったが収益化の目途は立っている状況である。

第1期に実施した鶴見緑地での魅力向上事業は地域の方々からも大変好意的に受け取っていただき、ハード整備としてはレストハウスつるみ建替えや第1運動場（現第2球技場）の人工芝化等は来園者・利用者だけでなく地域のフリーペーパー等でも大きく取り上げられ、利用者数や稼働率を見ると非常に親しまれていることがうかがえる。特に第1運動場の人工芝化により、公募時に



レストハウス解体後に新設したボタニカルハウス

公開された平成29年度運動場の利用率 昼間51.3%、ナイター40.4%から、R5年度には昼間60.7%、ナイター92.3%と大幅な利用率改善を見せ、現第2球技場単体では事業者側で設定していた投資回収のための稼働目標から118%の達成率となっている。ソフト事業についても大芝生を使用した大型イベントの誘致を始めたことなど来園者・市民から好意的に受け取っていただいております、過去のアンケートで需要の多かった食フェスの開催も実現しており、毎年のイベントとして定着している。

収益を伴わない事業としても様々な取り組みを行ってきたが、中でも公募により「つるみっこパーク」と命名された遊具広場は、2021年の設置以降インクルーシブな遊具広場として周辺住民だけでなく多くの人に愛される場所となっている。障害がある人もない人も同じ空間で遊ぶことができるため、土日祝日の利用頻度が高いことはもちろん、平日も遠足や校外学習利用として毎年20以上の団体がつるみっこパークの利用のために来園されている。想定よりも遊具の利用頻度が高く、摩耗による修繕が多いものの、利用者が多い証明でもあるため日常点検や定期点検を今後も徹底し安全管理に努め、未来の子どもたちからも愛される広場として運営していきたい。

公園の利用適正化については、市の条例で定める「ロケーション利用」に該当する有料の撮影会や「集会その他」に該当する教室事業等の適正化に努めた。特にロケーション利用については園内巡回の際の声掛けによる内容の確認だけでなく、SNSやHPなどで告知している撮影会実施者へメール・電話等による適正化指導を継続して実施し、2020年から2023年までの間に10件超の企業へ指導を行い是正した。

反面、施設や植栽の老朽化による不具合が散見され、修繕費が年々嵩んでいる状況である。魅力向上事業による収益の再投資の目途を建てることと合わせて、適切なリスク分担に基づく予防修繕・改修を計画的に行っていく仕組みを整えなければならないと考えている。



SNSでの無申請告知例

○一般園地

施設名	項目		R 2	R 3	R 4	R 5
鶴見緑地（一般園地）	利用者満足度	目標値	85.0%	85.0%	85.00%	85.00%
		実績値	93.6%	94.5%	95.50%	98.10%
		達成率	110.1%	111.1%	112.40%	115.40%
	来園者数	目標値	5,500,000人	5,500,000人	5,500,000人	5,500,000人
		実績値	3,250,000人	4,352,893人	4,283,439人	5,004,836人
		達成率	59.1%	79.1%	77.9%	91.0%

- ・指定管理者が変わった初年度から定着を狙っていたせせらぎマルシェは天候には左右されるものの、固定客がつき始めており定着したといえる。
- ・収益施設としては現時点で最後となるアルペンアウトドアーズを R5 年 12 月にオープンさせた。R4 年にオープンさせたスターボックス、コメダ珈琲、BOTANICAL HOUSE も好調で、SNS 等においても高評価を受けている。
- ・公園内でのスクール事業や有料の撮影会等の利用適正化に努め、あらゆる人が公平・平等に利用できる公園運営を行った。
- ・子どもホスピスの利用者に撤去予定のコスモスを持ち帰りいただくイベントやチャリティーイベントを開催し公園としての連携を深めた。
- ・来園者数データについて、2021 年以降は携帯電話の GPS 機能を利用した推計という世間的にも新しい仕組みを採用している。導入時には過去のデータとの連続性の捉え方など大阪市と協議を重ね、従前の推計方法（出入口ごとの人力による手動カウント）と比較して一定の優位性が認められたが、10 代の来園者が抽出できないため今後改良が必要と考えている。（上表の来園者数に 10 代はカウントされていない）

○咲くやこの花館

施設名	項目		R 2	R 3	R 4	R 5
咲くやこの花館	利用者満足度	目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%
		実績値	86.0%	89.0%	89.0%	98.2%
		達成率	101.2%	104.7%	104.7%	116.0%
	利用者数	目標値	233,000人	233,000人	190,000人	233,000人
		実績値	144,364人	184,318人	231,907人	226,198
		達成率	62.0%	79.1%	122.1%	97.1%

- ・「植物園にあるレストラン」らしく植物を効果的に配置するとともに、統一感のない家具の取替えや傷みの激しい床面の張替え等内装をリニューアルし、気持ちよく食事や休憩をとり心地よいひと時を過ごしていただけるようリニューアルを実施した。リニューアルを実施することで、咲くやこの花館への入館後にレストランを利用されるお客さまには余韻を楽しんでいただける空間となった。また、公園側からレストランを利用されたお客さまには、「植物園にあるレストラン」であることを体感していただくことで、食事後に咲くやこの花館に入館いただけるきっかけになった。
- ・コロナ禍では、コロナ感染症予防対応に注意しながら、予防対応、団体人数、イベント等の参加人数に制限など運営管理を行った。
- ・コロナの 5 類への移行にともない人数制限は段階的に緩和するなど、コロナ対策を講じながらしていった。
- ・「少ない労力で美しいガーデン」を目指すボランティアリーダー養成講座をプチイングリッシュガーデンで実施。風に揺らぐ宿根草やグラスの美しいガーデンは新たな人気スポットになった。さらに、天王寺動物園の協力により有機物の有効活用も実施した。
- ・NHK 連続ドラマのらんまんに合わせた企画展による植物展示や、同モデルの牧野富太郎博士ゆかりのスイタグワイ、アイギョクシイタビ、ヤマトグサ、スエコザサなどを新たに導入。冬季休眠するムジナモの周年展示も実施した。
- ・御堂筋で育ったスイカを大阪市と連携して展示。その後、中身や味が気になる来館者の要望に応え、「切断して観察をする会」を開催するなどし、植物のたくましい生命力や他の果

- 物、種子（形、散布方法など）の紹介なども交えて、緑化普及をPRした。
- ・大阪市による大型修繕である大屋根工事での全植物室が足場で覆われる中、事故が起きないようお客様への安全対策を行った。
- ・光熱水費、原材料費の高騰に加え、人件費（労務単価）、物価の上昇による管理費に大きく影響した。
- ・情報発信の強化（SNS 等での発信強化）により多数メディアから取り上げられ、イメージ・認知度を向上させた。
- ・大阪市建設局様から依頼があった「ど根性スイカ」の展示協力を行い、市民の関心の高さから「スイカを切ってみる会」を開催し、多くの市民が参加できる試食会のイベントを企画し、多くのマスコミに注目を集めた。
- ・Youtube を使用した情報発信を積極的に行った。
- ・夜間開花する植物（月下美人など）やデビルスハンズツリーなど、開花する様子が開館中に見ることができない植物の開花する様子を定点カメラで撮影し、YouTube やホームページで公開し、マスコミにも取り上げられ、来館者の関心を集めた。
- ・R6 年度も大規模修繕により、イベントが実施できないが、11 月 2.3. 9.10 に大阪市主催で開催される万博機運醸成イベントにあわせて、館内で「大阪で開催された国際花と緑の博覧会 メインパビリオン「咲くやこの花館」展」を実施するなど、2025 大阪関西万博の機運醸成を図る。

○鶴見緑地パークゴルフ場

施設名	項目		R 2	R 3	R 4	R 5
鶴見緑地 パークゴルフ場	平均コース利用率	目標値	3.0コース	3.0コース	2.5コース	2.5コース
		実績値	2.3コース	2.23コース	2.23コース	2.29コース
		達成率	76.7%	74.3%	89.2%	91.6%
	利用者満足度	目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%
		実績値	75.0%	89.4%	95.6%	90.6%
		達成率	88.2%	105.2%	112.5%	106.6%
	利用率	目標値	95.0%	95.0%		
		実績値	100.0%	100.0%		
		達成率	105.3%	105.3%		
	利用人数	目標値	—		29,500人	29,500人
		実績値			32,939人	29,620人
		達成率			111.7%	100.4%

- ・コロナや猛暑、休日の雨天など外的要因によって集客に大きな影響はあるが、年間集客目標人数は達成出来ている。
- ・利用者満足度向上のため、待ち時間短縮や混雑緩和策の実施として入場誘導やコース振分けを実施。また混雑時はフロント担当者を配置。入口周辺の滞留を防ぐとともに、スムーズに受付誘導するための動線を確保するようにした。
- ・自主事業大会（月例、オープンコンペ）や地域自治会のコンペ等は計画通り実施。競技志向の強いコア顧客層の要望にもしっかりと応えられている。
- ・芝草は日々状況が変化するため、その管理に最大限の注力を行っている。特に夏場は芝にとって過酷な時期であるが、灌水や刈込みなどを経験値・対応力の高いスタッフが作業にあたることで評価の高いコースコンディションを維持している。
- ・グリーン部分については毎年芝生張替の大規模修繕を実施し、コースの劣化抑制に努めている。

○鶴見緑地球技場他 4 施設

施設名	項目		R 2	R 3	R 4	R 5
鶴見緑地球技場 ※R4より 第2球技場含む	利用件数	目標値	2,846件	3000件	6,600件	6,600件
		実績値	2,511件	2,498件	6,087件	6,302件
		達成率	88.2%	83.3%	92.2%	95.4%
	利用率	目標値	65.0%	70.0%	70.0%	70.0%
		実績値	69.2%	66.6%	64.4%	66.4%
		達成率	106.5%	95.1%	92.0%	94.9%
	利用人数	目標値	99,775名	117,000名	234,000名	234,000名
		実績値	89,869名	84,253名	251,357名	260,931名
		達成率	90.1%	72.0%	107.4%	111.5%
鶴見緑地庭球場	利用件数	目標値	26,172件	28,500件	28,500件	28,500件
		実績値	24,151件	22,694件	20,206件	25,421件
		達成率	92.3%	79.6%	70.8%	89.0%
	利用率	目標値	55.0%	55.0%	55.0%	55.0%
		実績値	43.1%	51.3%	49.0%	48.8%
		達成率	78.4%	93.3%	89.0%	88.7%
	利用人数	目標値	81,748名	85,000名	85,000名	85,000名
		実績値	75,668名	68,020名	80,824名	81,312名
		達成率	92.6%	80.0%	95.0%	95.6%
鶴見緑地運動場 ※R4より 第2運動場のみ	利用件数	目標値	1,880件	2,000件	800件	800件
		実績値	1,615件	1,402件	650件	653件
		達成率	85.9%	70.1%	81.2%	81.6%
	利用率	目標値	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%
		実績値	44.0%	45.5%	33.1%	33.3%
		達成率	97.8%	101.1%	73.5%	74.0%
	利用人数	目標値	52,115名	51,000名	16,000名	16,000名
		実績値	43,825名	37,245名	19,740名	19,609名
		達成率	84.1%	73.0%	123.3%	122.5%
鶴見スポーツセンター	利用件数	目標値	2,710	3,400件	3,400件	3,400件
		実績値	2,791	3,148件	3,405件	3,198件
		達成率	103.0%	92.6%	100.1%	94.1%
	利用率	目標値	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
		実績値	92.7%	91.9%	92.9%	90.2%
		達成率	97.6%	96.7%	97.8%	94.9%
	利用人数	目標値	72,000	56,000	56,000名	56,000名
		実績値	61,078	46,972	43,097名	41,921名
		達成率	84.8%	83.8%	77.0%	74.9%
鶴見緑地プール	利用人数	目標値	160,000	160,000名	160,000名	160,000名
		実績値	44,339	60,948名	104,115名	160,772名
		達成率	27.7%	38.1%	65.1%	100.4%

【鶴見緑地プール】

- ・初年度から緊急事態宣言や工事による人数制限/休館が発生したが、R5年度にようやく年間を通じフルスペックでの運営となり、利用者 160 千人を達成、多くの方に評価いただいた。
- ・夏季対策として、制限期間中は 2 部入替制と整理券配布で感染対策と待ち列制御実施。制限解除後はミスト扇風機や塩飴配布などに加えて、ホームページに待ち時間を表示し情報提供強化するとともに、ナイトプールキャンペーンを実施して利用時間の分散と利用者増に努めた。
- ・一方、R5 年度冬季は、水温が安定せず、万全とは言えない状態は解消できなかった。

【鶴見スポーツセンター】

- ・初年度の2か月休館以降は、全休館となった期間は多くなかったものの、ワクチン接種会場としての利用やコロナキャンセル、団体当たりの人数制限などの影響が続き、R5年度は工事休館もあって、年間を通じた通常運営が叶わない4年間となった。
- ・R5年度、第1体育場工事休館の際には、教室を第2体育場/多目的室へ移して開催、利用者への影響を最小化し、また、第1体育場のワックスがけや館内スリッパ設置など、サービス品質向上と利用者満足度の向上にも努めた。
- ・マラソンイベントは競合も多くマーケットのシュリンクもあるため再考が必要。

【鶴見緑地球技場】

- ・人工芝を敷設した第2球技場の利用率が非常に好調で、利用料金収入は2019年度の約4倍となった。
- ・特に夜間の稼働率が飛躍的に向上し、2019年までの夜間稼働率が30%程度だったことに対し、2023年は92.3%となっている。また2023年度からは早朝の予約が増加している。
- ・サンセットヨガ・風揚げイベントやスクール生のソサイチ大会を定例化し、季節感のあるスクールとして集客増に努めた。

【鶴見緑地運動場】

- ・不陸整地、塩化カルシウム散布で利用環境向上を図った

【鶴見緑地庭球場】

- ・コート内のベンチの一新、更衣室内の長椅子設置など、利用者満足度の向上に努めた。
- ・教室入会キャンペーンを実施、参加者増加に努めた。
- ・SNSを活用し利用促進に努めたが、気候の変化に大きく左右され、前年度と同等の利用数で目標利用率には届かなかった。

○陳列館ホール他 2 施設

施設名	項目		R 2	R 3	R 4	R 5
陳列館ホール	利用催事数	目標値	90件	117件	159件	159件
		実績値	32件	52件	81件	95件
		達成率	35. 6%	44. 4%	50. 9%	59. 7%
	利用率	目標値	30. 0%	50. 0%	30. 0%	30. 0%
		実績値	13. 6%	24. 1%	25. 6%	29. 8%
		達成率	45. 3%	48. 2%	85. 3%	99. 3%
	利用者満足度	目標値	85. 0%	85. 0%	85. 0%	85. 0%
		実績値	80. 0%	87. 5%	100. 0%	92. 0%
		達成率	94. 1%	102. 9%	117. 6%	108. 2%
水の館ホール (附属展示場)	利用催事数	目標値	367件	235件	316件	316件
		実績値	125件	122件	351件	373件
		達成率	34. 1%	51. 9%	111. 0%	118. 0%
	利用率	目標値	45. 0%	50. 0%	45. 0%	45. 0%
		実績値	26. 6%	30. 6%	51. 3%	59. 1%
		達成率	59. 1%	61. 2%	114. 0%	131. 3%
	利用者満足度	目標値	85. 0%	85. 0%	85. 0%	85. 0%
		実績値	90. 0%	87. 5%	100. 0%	91. 0%
		達成率	105. 9%	102. 9%	117. 6%	107. 1%
茶室むらさき亭	利用催事数	目標値	50件	117件	159件	159件
		実績値	11件	16件	36件	49件
		達成率	22. 0%	13. 7%	22. 6%	30. 8%
	利用率	目標値	20. 0%	50. 0%	20. 0%	20. 0%
		実績値	4. 60%	6. 60%	11. 3%	15. 4%
		達成率	23. 0%	13. 2%	56. 5%	77. 0%
	利用者満足度	目標値	85. 0%	85. 0%	85. 0%	85. 0%
		実績値	95. 0%	94. 1%	100. 0%	92. 0%
		達成率	111. 8%	110. 6%	117. 6%	108. 2%

新型コロナウイルスの影響がある中、利用者様がイベント開催に前向きになってきていた。イベント数も増加していたが、参加者数も増加してきた。施設でできる感染対策を実施（消毒や注意喚起など）して、安心安全に利用いただける施設運営を実施できた。また新規自主事業としてドローン体験会および講習会を実施したことで、新たな利用者層を確保することができた。

○鶴見緑地馬場

施設名	項目		R 2	R 3	R 4	R 5
鶴見緑地馬場 (乗馬苑)	利用者満足度	目標値	85. 0%	85. 0%	85. 0%	85. 0%
		実績値	91. 0%	89. 0%	86. 0%	96. 0%
		達成率	107. 1%	104. 7%	101. 2%	112. 9%
	利用率	目標値	100. 0%	100. 0%		
		実績値	100. 0%	100. 0%		
		達成率	100. 0%	100. 0%		
	利用者数	目標値	—		54, 200人	57, 800人
		実績値			57, 092人	58, 942人
		達成率			105. 3%	101. 9%

R2年度、R3年度は新型コロナウイルス流行による緊急事態宣言発令により、各年度とも2ヶ月の施設休業となった。R2年度は旅行に代わる趣味として屋外スポーツへ転向される傾向もあり、売上は目標に届かなかったが会員数は増加した。これは、SNS等を活用しての情報発信やテーマを明確にした乗馬体験案内により入会数が確保できたことによる。

一方、R3年度の施設休業時は、周囲の乗馬施設が営業していたため移籍による退会者が増加し、会員数減少による騎乗券や会費等自主事業収入が減少した。

秋以降からは月例行事のポニーふれあい・イベントや会員向けイベントを再開している。

コロナ明けとなったR4年度は入会者数が前年度比135%に増加、これに伴い会員数・利用者数も増加、目標達成レベルまで回復した。

R5年度はコロナウイルスの第5類移行に伴い制限が緩和され、旅行などの行動範囲が広くなり趣味が分散されたため入会者の減少がみられた。会員数は減少したものの合計利用者数は過去4年で最も多く、結果として高額な会員利用よりも引き馬や乗馬教室、イベントなど単価の低い事業に対しての宣伝広告等を含めた取り組みやサービスの向上等の事業内容が利用者を増加させたと考えられる。

8 第2期に向けた課題と目標

- 「公共施設」としての役割を全うする。行政だけでなく、一般に、開かれた場所であることの意味と価値を示し、特に「花と緑の公園」「自然と人との共生」を意識した公園運営を行っていきたい。
- 自然と人との共生は単に自然を大事にする、という意味ではない。人の手が入っていない原生林としての山と人里との間にあった「里山」に近い管理が必要である。自然と人が共存可能な状態は、人が適切に手を加えることによって成り立つ。公園管理は自然樹形を基本としているが、樹木にも寿命があることを踏まえて適度な伐採や新植が必要である。
- 収益施設の安定的な運営が必要。飽きさせない工夫をどんどん展開していく。
- 周辺施設や地域連携も大切である。ただし、公園運営を事業ととらえた際には「収益」と「公益」と「公共」のバランスが非常に重要である。どれか一つに寄り過ぎず、時には一つに特化して柔軟な運営を行っていきたい。

○一般園地

- ・ 30 年が経過し、設備の老朽化も激しく、公園の利用者や管理運営に直接影響を及し始めている施設設備の更新に向け、大阪市の関係部署とも連携の強化を図る。
(例) 公園利用者に影響を及ぼすもの(陳列館の空調、公園灯、大池浄化設備など)
公園管理運営に影響を及ぼすもの(園内通信設備、管理棟の空調設備など)
- ・ 最低賃金の上昇に代表される物価高騰に対して、業務代行料の見直し時期と合わせて適正な数量管理とコスト把握が必要である。
- ・ 2025 万博開催に併せての連携事業の実施
- ・ 大池の水質浄化

○咲くやこの花館

- ・ 外周庭園の再整備
- ・ 館内植物の適切な維持管理と保有コレクションの見直しと充実
- ・ 団体向け有料予約制フラワーツアーを引き続き実施し、平日の高齢者や園芸クラブ向け団体顧客ニーズに応える
- ・ 広報の拡充(インバウンドにアプローチする広報先の拡充)

○鶴見緑地パークゴルフ場

- ・ 利用者目線での障害物や危険箇所の早期察知および改善を実施し、引き続き安心安全なプレー環境の創出に努める。
- ・ ピーク時混雑緩和策の検討必要。スタッフ間で顧客動向を随時共有し、Cコースへ誘導するなど臨機応変なコース振分けを行う。
- ・ 新規来場者(家族連れ、若年層)へのマナー啓発活動の実施継続。
- ・ 新規顧客獲得のため、守口市、城東区、旭区など、鶴見区以外の近隣エリア自治会等へのアプローチ検討
- ・ 受付スタッフの接客能力向上のための研修機会を設け、さらなる顧客満足度の向上を目指す。

○鶴見緑地球技場他 4 施設

- 【鶴見緑地プール】
 - ・ 夏季の待ち列対策強化(熱中症対策、受付効率向上など)と高品質なサービスの提供
 - ・ 冬季の利用増への訴求(加温不足の解決、イベント企画など)

【鶴見スポーツセンター】

- ・多目的室を中心とした利用率の向上（イベント開催、空き枠の掲示など）
- ・施設サービス満足度向上（施設備品の更新、清掃品質向上など）
- ・老朽化に係る安全安心の完全整備（点検/メンテナンス強化）

【鶴見緑地球技場】

- ・第2球技場を活用した、サッカー以外のイベント開催を検討
- ・鶴見緑地球技場の利用者向けの広報（SNS・施設HP・LINE等）発信
- ・建屋浸水問題の解決

【鶴見緑地庭球場】

- ・利用者数・利用率の拡大・向上（園内往来者へのアピール、空き情報のお知らせ、ナイター利用の促進等）
- ・スクール会員の拡大（新規クラス立ち上げ、内容充実や広報）
- ・コート不陸の解消、利用環境整備

○陳列館ホール他2施設

新型コロナウイルスの影響が薄れていく中で各イベントの実施方法も変わってきている。感染拡大の心配は少なくなってきているが、多くの方が集まるイベントを実施する施設としてできる感染対策を実施し安心安全に利用いただけることを継続していく。
新規事業として実施したドローン体験及び講習会を周知徹底して、新たな顧客の獲得につなげていきたい。

○鶴見緑地馬場

- ・目的事業の利用者数増加を目指し、各種媒体を使って乗馬教室などの宣伝を行う。
- ・飼養馬匹の頭数を増やし更なる予約枠の増大と利用者の増加を行う。
- ・利用者の安全な利用を確保するため、老朽化した施設の不具合修繕や整備を行う。
- ・一般市民や来園者が参加できる馬についての講習会や馬を使ったイベントの開催を積極的に行う。
- ・要望の多い外部施設への外乗ツアーの開催回数を増やし、参加できる機会を増やす。
- ・アンケートを定期的実施し、意見や要望などを分析・反映させる。
- ・経費コスト増加に伴い、利用料金改定の検討が必要。
- ・会員退会者の数を減らし、そのためのサービス向上や利用枠の増大を行う。

9 その他特記事項

公募時にコンセプトとして提示した、「SDGsのうち13のゴールを目指して鶴見緑地の将来を考える」ことについて、第1期の4年間の達成状況は以下のとおりである。

【1. 貧困をなくそう、2. 飢餓をゼロに】

＜実施した事業＞

- ① 公募時に提案した HUBchari を R2 年度に導入し、園内回遊性の向上を図るとともに、認定 NPO 法人 Homedoor を通じて野宿生活者の自立支援に取り組んだ。HUBchari は認定 NPO 法人 Homedoor が行っている野宿生活者の自立支援を目的とした事業で、野宿生活者にバッテリーの充電や自転車の再配置という業務を担ってもらい、対価を支払うことで自立支援につなげる活動である。鶴見緑地内のポート認知度も4年間で上昇しており、直近 R5 年度の月間利用件数は平均 850 件/月以上であり、多い月は 1,000 件を超える利用がある。園内の回遊性向上として鶴見緑地内のポート間での利用のほかに、他ポートから鶴見緑地へのアクセスにも利用できることから件数増につながっており、園内の回遊性向上・来園者数増加と合わせて、野宿生活者の自立支援に大きく寄与している事業である。
- ② R3 年度からスタートさせた、環境事業協会と連携実施しているあわい農園では、守口市の子ども食堂や、鶴見区の子ども食堂であるつるみのおかんの井戸端食堂と連携し、子どもと保護者の方を対象に体験学習施設の一部を活用して野菜等の収穫体験を行っている。子ども食堂を利用する子どもたちは保護者が土日祝に仕事をされていることが多いことから、収穫体験のような体験学習に参加できる機会が相対的に少ない傾向にあるため、保護者がいなくとも参加できる体験学習のスキームを構築して実施している。収穫した作物は収穫体験参加者の持ち帰り、子ども食堂への寄付、鶴見緑地フェスタ内のブースにて子どもたちが自分たちで値付け・販売を行う等により、学習体験だけでなくフードロスゼロへ向けた取り組みにも寄与している。



NO.	施設	事業名称等	R2	R3	R4	R5	R6	連携先等
提案事業	1 一般園地	HUBchari	○	○	○	○	○	NPO法人Homedoor
	2							
	3							
	4							
その他	1 一般園地	あわい農園			○	○	○	(一財)環境事業協会
	2 乗馬苑	ニンジン畑収穫体験	○			○	○	
	3							
	4							

【3. すべての人に健康と福祉を】

＜実施した事業＞

- ① アウトドアフィットネス事業を R2 年度にスタートさせ、来園者の健康と福祉にアプローチを行っている。鶴見緑地の自然を生かしたパークヨガや満月ヨガ、子どもと参加できるファミリーヨガは毎回キャンセル待ちが出るほど好評を得ており、体験学習施設を活用したアーシングや、公園を案内しながらのノルディックウォークなど鶴見緑地の特性を活かした事業展開も人気のプログラムとなった。他施設との連携として、代表企業が管理する他公園（泉南ロングパーク等）への遠足イベント等、飽きの来ないプログラム構築に取り組んでいる。※会員数 278 名（2024.6 時点）
- ② 英国発祥の運動イベントである「パークラン」を開催している。パークランは住友生命が日本へ持ち込んだ取り組みであり、年齢性別を問わず、誰もが気軽に、毎週参加できるランイベントであり、世界各地で 870 万人以上が参加するダイバーシティの先進的な取り組みとして注目されている。鶴見緑地では 1 回あたりの参加者が 100 名を超える規模に発展し、引き続き鶴見緑地における健康と福祉意識の増進に寄与している。



NO.	施設	事業名称等	R2	R3	R4	R5	R6	連携先等
提案事業	1 一般園地	アウトドアフィットネス	○	○	○	○	○	(株)BEACH TOWN
	2 乗馬苑	ふれあいホースパーク	○	○	○	○	○	
	3 乗馬苑	体験乗馬・乗馬教室・ひき馬（市民割引）	○	○	○	○	○	
	4 球技場	第 1 運動場の人工芝化			○	○	○	
	5							
その他	1 一般園地	アーシング			○	○	○	(株)BEACH TOWN
	2 一般園地	パークラン			○	○	○	パークラン・住友生命
	3 乗馬苑	乗馬レッスン事業	○	○	○	○	○	
	4 乗馬苑	外部施設へ外乗トレッキングツアー	○	○	○	○	○	
	5 乗馬苑	乗馬に関わる体幹トレーニング				○	○	
	6 乗馬苑	シニア向け乗馬プログラムの提供		○	○	○	○	
	7 乗馬苑	ジュニア向け乗馬プログラムの提供		○	○	○	○	



第 2 球技場（旧第 1 運動場）

【4. 質の高い教育をみんなに、6. 安全な水とトイレを世界中に、12. つくる責任使う責任、14. 海の豊かさを守ろう】

＜実施した事業＞

- ① イベントの付帯として招致しているキッチンカーについて、イベントの特性や参加人数に応じて販売物の種類や数量を調整し、フードロスがゼロとなるよう取り組んだ。
- ② あわい農園で収穫した作物を参加者である子どもたちに自ら値付けをして販売するイベントを行った。子ども食堂を利用する子どもたちは保護者が土日祝に仕事をされていることが多いことから、収穫体験のような体験学習に参加できる機会が相対的に少ない傾向にあるため、植え付けから収穫を経て販売までを体験できる取組として注目を集めており、都市循環・こども食堂支援・はたらく支援の3つを柱とした活動が多方面から賛同を受けている。

NO.	施設	事業名称等	R2	R3	R4	R5	R6	連携先等
提案事業	1 一般園地	キッチンカー（フードロス）	○	○	○	○	○	
	2 乗馬苑	ふれあいホースパーク	○	○	○	○	○	
	3							
	4							
	5							
その他	1 一般園地	あわい農園（都市循環、子ども食堂・はたらく支援）			○	○	○	
	2 乗馬苑	うまうまキャンプ		○	○	○	○	
	3 乗馬苑	外部講師による馬の行動心理学講座	○	○	○	○	○	
	4 乗馬苑	ニンジン畑収穫体験	○			○	○	
	5 乗馬苑	乗馬ライセンス認定事業	○	○	○	○	○	

【7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに、9. 産業と技術革新の基盤を作ろう】

＜実施した事業＞

- ① 環境局・なにわECOスクエアが実施するECO縁日など、園内での再生可能エネルギーなどの普及啓発事業への広報・調整協力を行った。
- ② R4 年度には脱炭素に資する実証実験の協力として咲くやこの花館内に太陽光パネルから直流給電を行う冷蔵庫の設置や、水と大気中のCO₂から生成する人工石油の使用実験等に協力した。
- ③ R7 年を目途に廃止・光回線へ移行が決定しているメタル回線について、R3 年度に NTT 西日本と協力し園内の主要幹線を光ケーブルに更新した。
- ④ 魅力向上施設に敷設している太陽光パネルにより、施設運営に係る電力の一部として活用した。

NO.	施設	事業名称等	R2	R3	R4	R5	R6	連携先等
提案事業	1 プール	入退館管理システム、キャッシュレス化	○	○	○	○	○	
	2							
	3							
	4							
	5							
その他	1 一般園地	ECO緑日等への協力			○	○	○	なにわECOスクエア
	2 一般園地	魅力向上施設の太陽光パネル			○	○	○	
	3 一般園地	園内メタル回線の光ケーブル更新		○	-	-	-	NTT西日本
	4 一般園地・咲くやこの花館	脱炭素に資する実証実験への協力			○			商工会議所 他
	5 乗馬苑	馬糞とおがくずの堆肥利用	○	○	○	○	○	

【11. 住み続けられるまちづくりを】

＜実施した事業＞

- HUBChar i やつるモビ等、園内回遊のための手段を複数継続して運用している。つるモビはR3年度に導入したパーソナルモビリティであり、アクティブ会員数8,000人(2024.3月末時点)が利用している。R5年度初めにはつるモビ座り乗りタイプの運用を開始し、多様な方がより利用しやすいサービスとした。
- 鶴見緑地では毎朝有志の方々がラジオ体操を実施されている。公園管理者としてラジオ体操の参加者とコミュニケーションを図り、ラジオ体操終了後に周辺の清掃活動を実施してもらい、参加者や一般来園者へのごみに対する啓発とした。合わせて毎週土曜日のパークラン参加者にも賛同を得て、パークラン参加者についても同様の取り組みを実施している。集めたごみはパークセンターにて回収し、適切に処分している。
- 園内で大型イベントが増えているが、主催者・事業者に対してごみステーションの設置及びごみの分別回収を徹底させている。



NO.	施設	事業名称等	R2	R3	R4	R5	R6	連携先等
提案事業	1 一般園地	HUBチャリ	○	○	○	○	○	NPO法人Homedoor
	2 一般園地	つるモビ		○	○	○	○	
	3 一般園地	つるモビ（座りタイプ）				○	○	
	4 一般園地	落ち葉ごみの腐葉土化	○	○	○	○	○	
	5							
その他	1 一般園地	ラジオ体操（清掃ボランティア）	○	○	○	○	○	
	2 一般園地	パークラン（清掃ボランティア）	○	○	○	○	○	パークラン・住友生命
	3 一般園地	ゴミステーション（大規模イベント開催時）			○	○	○	イベント主催者
	4 一般園地	不同沈下の解消（一部）			○			
	5 乗馬苑	鶴見緑地フェスタ馬ブース出張参加		○	○	○		
	6 パークゴルフ	地域自治会、月例大会への協力	○	○	○	○	○	各自治会幹事

【13. 気候変動に具体的な対策を、15. 陸の豊かさを守ろう】

＜実施した事業＞

- ① 咲くやこの花館では以下の生物多様性に関する事業を実施した。
 - ・ 野外で自然と触れ合える機会を増やす取り組みや身近なところで生き物・植物を見つけるイベント
 - ・ 国内外の希少な植物の生息域外保全
 - ・ ハワイの固有植物の展示およびツアー解説やボルネオ（マレーシア）の熱帯雨林や動物の保護活動、マダガスカルの植物紹介
 - ・ SDGs の観点から天王寺動物園と協力し、サバンナ堆肥を用いた土づくりを行い、また、堆肥のプレゼント配布を行った
 - ・ バナナの廃材となる葉や茎を利用して織り込んだ「バナナクロス」のティッシュケースを提供してもらい、フラワーツアーで紹介し、参加者へのノベルティとして配布した。
 - ・ 洗剤や食品の袋を使って ミニバッグやアートフレームをつくろうという SDGs 工作イベントを実施した。
 - ・ 経済産業省との「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約）」に基づいて任意放棄され、取得した植物寄託された植物の保護・育成
 - ・ ワシントン条約に該当する疑いのある植物の同定などの協力から、税関業績者表彰を受賞した
 - ・ 日本植物園協会の植物多様性保全事業として絶滅危惧種を栽培している
- ② 体験学習施設を活用した自然体験学習機会を提供し、じゃがいも、さつまいも、落花生等を植え付けから収穫までを体験する家族向けイベントを開催した。近年ではなかなか見ることのできない植物の成長や収穫方法等が人気で、参加者は3倍から5倍の抽選となっている。募集方法は往復はがきとインターネット申し込みを双方検証したところ、往復はがきの方が抽選後の参加率が高いため、原始的ではあるが今後も往復はがきによる募集を継続する方針である。

NO.	施設	事業名称等	R2	R3	R4	R5	R6	連携先等
提案事業	1 一般園地	大芝生・芝の再生		○	○	○	○	
	2 一般園地	自然体験学習機会の提供	○	○	○	○	○	
	3 一般園地	じゃがいも・さつまいも・落花生	○	○	○	○	○	
	4 一般園地	昆虫観察会	○	○	○	○	○	
	5 咲くやこの花館	野外での自然と触れ合えるイベント	○	○	○	○	○	
	6 咲くやこの花館	国内外の希少な植物の生息域外保全	○	○	○	○	○	
	7 咲くやこの花館	ハワイの固有植物の展示およびツアー解説	○	○	○	○	○	
	8 咲くやこの花館	植物多様性保全事業として絶滅危惧種を栽培	○	○	○	○	○	
	9 咲くやこの花館	ワシントン条約に基づく任意廃棄植物の保護育成	○	○	○	○	○	経済産業省
その他	1 咲くやこの花館	ボルネオ（マレーシア）の熱帯雨林や動物の保護活動紹介	○	○	○	○	○	
	2 咲くやこの花館	ハワイやマダガスカルの植物紹介	○	○	○	○	○	
	3 咲くやこの花館	日本植物園協会の植物多様性保全事業として絶滅危惧種を栽培	○	○	○	○	○	日本植物園協会
	4 咲くやこの花館	サバンナ堆肥を用いた土づくりと堆肥のプレゼント配布			○	○		天王寺動物園
	5 咲くやこの花館	バナナの廃材となる葉や茎を利用して織り込んだ「バナナクロス」の配布			○	○		
	6 咲くやこの花館	SDGs工作イベント			○	○	○	
	7 乗馬苑	馬糞とオガクズの堆肥利用	○	○	○	○	○	
	8 乗馬苑	うまうまキャンプ		○	○	○	○	
	9 パークゴルフ	熱中症対策として、スタート横に簡易ミスト設置				○		

【17. パートナースhipで目標を達成しよう】

＜実施した事業＞

- ① R3 年度に、地域連携やよりよい鶴見緑地を作るためのプラットフォーム「鶴見緑地ぷらっとフォーム」を立ち上げた。これまでの主な活動として、R3 年度にオープンした新遊具広場の愛称募集と命名、それに合わせた記念イベント「つるみっこパーク夏まつり」の企画・開催、各事業者からのイベントや講習会の案内、園内の工事情報の共有、新規施設の開業案内などを行った。また、夏に開催した「ナイトピクニック」においては、近年実施できる場所が限られている手持ち花火を限定的に実施できるコーナーを地域の要望に応えるかたちで実施し、夏の定例コンテンツとして定着しつつある。



NO.	施設	事業名称等	R2	R3	R4	R5	R6	連携先等
提案事業	1 一般園地	鶴見緑地ぷらっとフォーム		○	○	○	○	地域や近隣施設
	2 全体	各広報誌への掲載	○	○	○	○		OsakaMetro 他
	3 全体	HPの改修		○	-	-	-	
	4 一般園地	SNSによる情報発信強化	○	○	○	○	○	
	5							
その他	1 パークゴルフ	鶴見区つる魅力検定への協賛		○	○	○	○	鶴見区役所
	2							

<その他施設ごとの特記事項>

○一般園地

大規模な設備更新については、指定管理者側からも提案をするとともに、単なるアイデア出しとならないよう、実効性のある協議を重ねたい。

○咲くやこの花館

- ・長寿命化の大規模修繕実施に伴う、利用制限や管理運営上の調整が必要である。
- ・大屋根改修に伴い、植物展示室内の全通路に養生通路屋根仮設物が設置され、景観的に大きく影響する為、事前に周知が必要となる。また、入館者数や入館料収入に影響することが懸念される
- ・引き続き老朽化に伴う故障や不具合事項の発生が懸念される為、状況に応じて対応していく必要がある
- ・人件費、物価の動向を見定めながらコスト管理を行い、質を落とさない管理をしていく必要がある

○陳列館ホール他 2 施設

- ・陳列館ホールの空調設備については、今夏にも利用者に直接影響が出る可能性が高く、至急更新されたい。
- ・水の館の地盤沈下が顕著になってきている。平面にする修繕工事が必要である。
- ・付属展示場入口の起伏の勾配がきつく入出庫車の底をすることがある。対応が必要である。

○鶴見緑地馬場

経年による馬場砂の流出、地盤沈下等による馬場の起伏を平面に整地する修繕工事が必要である。屋内馬場の自火報受信機に不具合発生がしており、自火報システムの機器自体が古く部品製造が終了しているため、機器一式の更新が必要である。

10 別紙

- ・ 成果指標にかかる数値目標の達成状況（１－３）
- ・ 利用者満足度の把握と反映方法（２－８、３－７）
- ・ 個人情報保護の取り組み（６－３）
- ・ 収支表